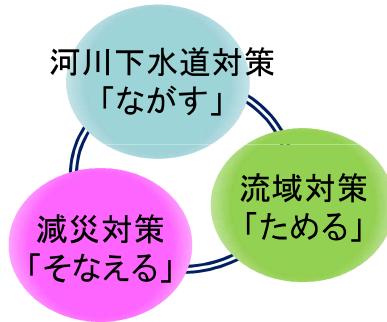


県下における総合治水の取り組み

～ 頻発する風水害に備えるために ～

『ためる』対策編



兵庫県総合治水課

『ためる』・『そなえる』・『ながす』とりくみ

大雨による水害から命と暮らしをまもるために、県や市町とともに「総合治水」にとりくみましょう。

まちを守るために、みんなできりくもう！

① ためる
森をまもってためる

② ためる
ため池でためる

③ ためる
水田でさらにためる

④ ためる
土や石が溜ったかわりに池をつくらせてためる

⑤ ためる
タンクでためる

⑥ ためる
グラウンドでためる

① そなえる
浸水する範囲を知る

② そなえる
川の水位や雨の状況を知る

① ながす
ダムをつかって川の水を減らす

② ながす
川を大きくして流せる水を増やす

③ そなえる
避難訓練をする

④ そなえる
へいをつくる

1 地域総合治水推進計画に基づく取組の推進

- ☆ 総合治水に関する施策の計画的な推進を図るため、
県下11地域ごとに「**地域総合治水推進計画**」を策定
- ☆ 「総合治水推進協議会」において広く県民の意見を反映



★河川流域を基本として地域設定

計画地域	関係市町
神戸(表六甲河川)	神戸市
阪神東部(猪名川流域圏)	尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町
阪神西部(武庫川流域圏)	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三田市、篠山市
神明(明石川等)	神戸市、明石市、稲美町
東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)	神戸市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、篠山市、丹波市、加東市、播磨町、多可町、稲美町
中播磨(市川流域圏)	姫路市、高砂市、朝来市、市川町、神崎町、太子町、神河町
西播磨東部(揖保川流域圏)	姫路市、宍粟市、たつの市、太子町
西播磨西部(千種川流域圏)	相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、上郡町、佐用町
但馬(円山川等)	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波東部(竹田川流域圏)	篠山市、丹波市
淡路(三原川等)	洲本市、南あわじ市、淡路市

3

2 具体的な取組状況 「ためる」

(1) 校庭貯留 **県・市町**

グラウンド周囲に**小堤を設置**、流出量を抑制し雨水を一時的に貯留



◆ 県立高校等の取組状況(H28年1月末) 完成 6校、整備中11校(設計中含む)

大雨時に!

計画地域名	学校名
武庫川流域圏	【完成】宝塚東高校、阪神昆陽高校、三田西陵高校、北摂三田高校、西宮甲山高校
	【整備中】宝塚北、神戸北、有馬、三田祥雲館高校
猪名川流域圏	【整備中】尼崎高校
加古川流域圏	【整備中】氷上西高校
市川流域圏	【完成】県立大学(姫路)
	【整備中】福崎高校
揖保川流域圏	【整備中】伊和高校
千種川流域圏	【整備中】佐用高校、相生産業高校
	円山川等



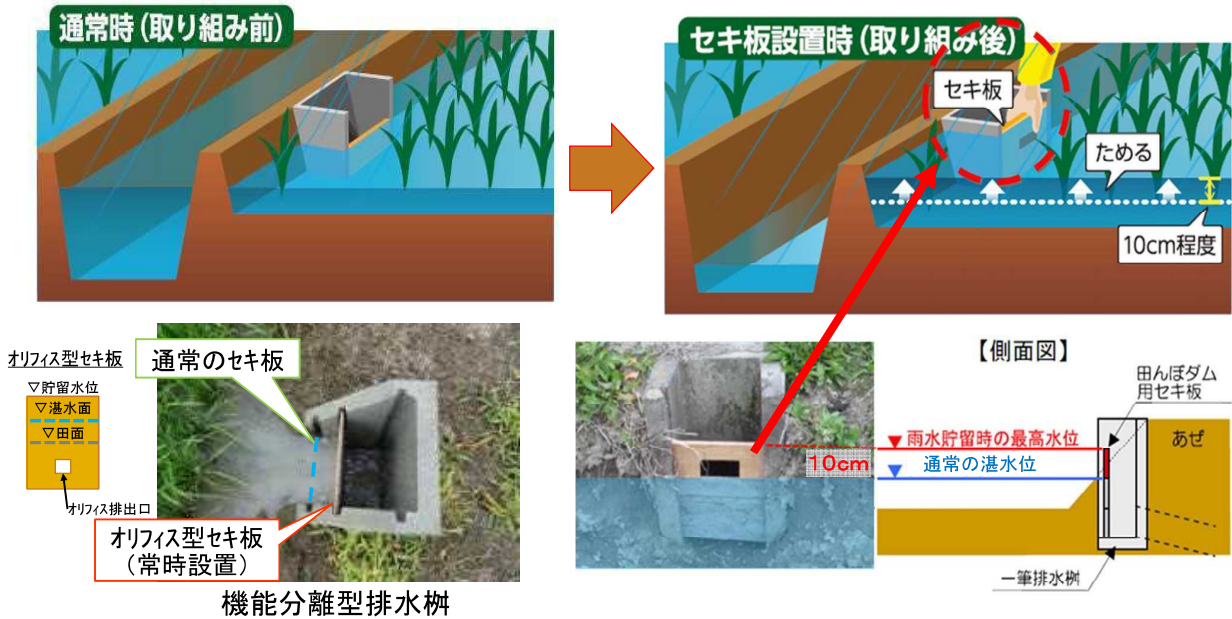
貯留量約1,300m³(H26.8)(西宮甲山高校)

◆ 市立学校の取組状況 完成 約70校[10市、神戸、尼崎、川西、西宮、姫路、高砂、小野、加西、西脇、丹波] 4

2 具体的な取組状況 「ためる」

(2)「田んぼダム」

県民



○「セキ板配布大作戦」を展開中 → 約11,000枚の配布実績(H27年度末)
田んぼダム取組 約2,200ha(29市町) (貯留容量 約220万 m^3)

◎新規にほ場整備する水田に、機能分離型排水柵を設置(南あわじ市)

5

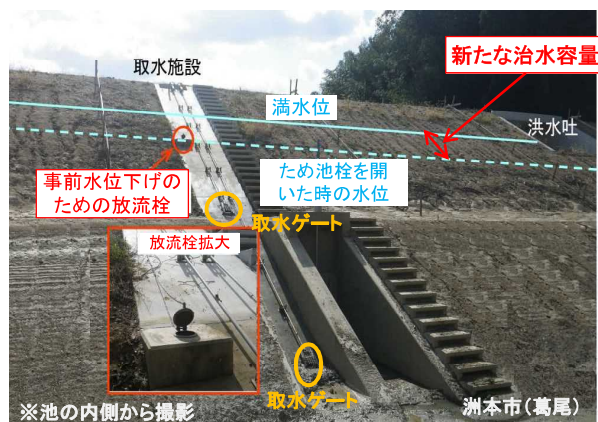
2 具体的な取組状況 「ためる」 県・市町・県民

(3)「ため池」の治水活用

ため池は県内に約38,000箇所！

取水施設改良型

予め設定した水位にあわせて**放流栓を設置し**、水位を下げられるようにする。



洪水吐改良型

洪水吐に**切欠きを設け**、水位を下げられるようにする。非かんがい期に堰板を外し、平常時の水位を下げおき、雨水貯留容量を確保



◎ため池(受益農地の減少したため池等)に新たな治水容量を常時確保
【整備中】4箇所 [17号池(明石市)、新池(相生市)、イヤ谷池(福崎町)、太郎池(洲本市)]

○ため池改修等に合わせた、事前水位下げのための放流施設等の整備
17市町84箇所(H27年12月末) ※事業中含む

6

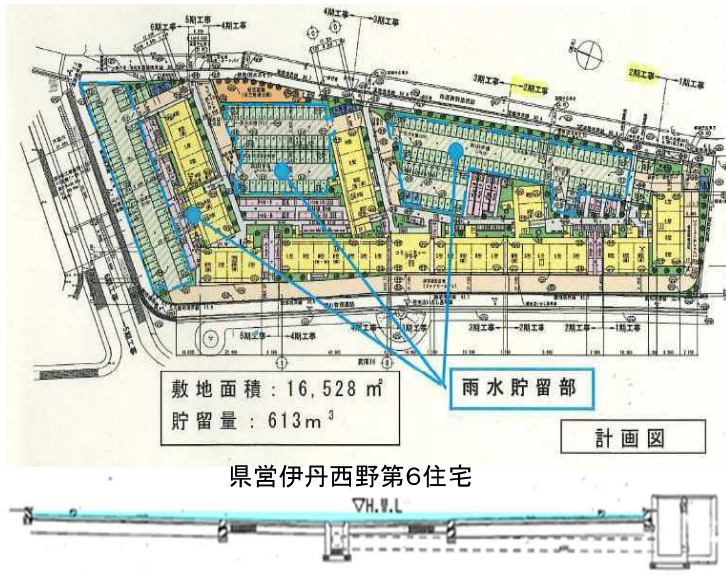
2 具体的な取組状況 「ためる」

(4) 駐車場貯留の取組

県・市町・事業者

- 駐車場表面に、約10cm程度の雨水貯留容量を確保する。または透水性舗装、グラスパーキング等により地下に浸透させる機能を備える。
- 県では、県営住宅の建替えに際して、敷地内の駐車場地盤面を約10cm下げ、雨水を一時貯留することで流出を抑制する。

【整備中】 11箇所 [伊丹西野第6住宅、宝塚安倉住宅、姫路御国野・御着住宅 等]



7

2 具体的な取組状況 「ためる」

(5) 各戸貯留(各市町)

市町・県民

- 雨水タンクの設置により、初期降雨の貯留による流出抑制、近隣の道路冠水などの内水氾濫に一定の効果が期待できる。

助成制度設置(18市町)

姫路市、尼崎市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、加古川市、たつの市、赤穂市、宝塚市、川西市、三田市、加西市、養父市、猪名川町、稲美町、太子町、香美町

※ほか、3市が休止中



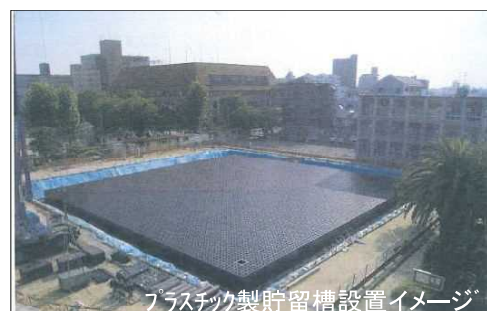
〔姫路市立別所小〕

これまで約**2,000**個の助成を実施

※県庁舎**12**箇所に設置予定 (H27年度)

(6) 地下貯留

- 市街地等、土地に制約のある場所で、駐車場、公園等の地下に貯留槽を設置。
市街地の内水氾濫に効果が期待できる。
- 県では、庁舎の建替えや耐震補強工事と合わせて実施を検討(県豊岡庁舎で検討中)



プラスチック製貯留槽設置イメージ

8

3 総合治水の普及啓発活動

◎県民の認知度アップ

ジオラマを活用した出前講座、PR展示、メディア媒体など



◀総合治水で取組む内容をクイズ形式で分かりやすく説明

西脇市立日野小学校

◀小学生を対象に模型で実験

◆神戸大学、高専、県立工業系高校と連携し、10基の総合治水模型を製作



国立明石高専
(ため池、城の堀等で貯留する模型)



神戸市立科学技術高校
(校庭、砂防ダム等の治水対策の模型)



県立農業高校
(水田、ため池で貯留する模型)